

OSGS 4 期生 活動進捗報告

寺田 陽香

【フィンドレー大学講義の受講報告】

2月下旬までの授業では本授業のテーマである「集団主義と個人主義」に関する講義や議論を行なったが、3月以降は以下の2点に内容が大きく変更した。

1. 野田真理氏を招いたディスカッション

東アジア言語の教育や日本語弁論大会を研究されているオハイオ州立大学の野田真理教授を招き、フィンドレー大学の学生や同大学のモット教授、川村教授とともに、「言語」の視点から見た集団主義と個人主義の議論を行なった。それまでの講義では、言語ではなく「家族、友達間での慣習」や「社会での振る舞い」をもとにして各国の特徴を比較していたため、新たな視点からの分析をすることができた。また、物事の見方を変えるとそのものの捉え方が変わることや、国の文化慣習に絶対的な正解はないことを学んだ。

2. 効果的なプレゼンテーションに関する講義

4月開催のシンポジウムに向けて、わかりやすいパワーポイントの作成方法やプレゼンテーションの話法など、実践的な発表方法を学んだ。特に后者では、対面ではなくZOOMを用いたプレゼンテーションの注意点などの昨今の世界情勢を鑑みた事柄を学び、時代の移り変わりに伴い個々も順応していく重要性を感じた。また、個人的に大学では異文化コミュニケーションを専攻し、部活動では英語弁論活動をしているため、それらとの知識が繋がった身になるセッションにもなった。



【埼玉親善大使としての活動報告】

埼玉親善大使としては、埼玉県の魅力に自らが気づき、その気づきを世界に発信し、そして埼玉県とオハイオ州を繋ぐ人材の一人になるべく、今後以下の3点に取り組んでいる。

1. フィンドレー大学学長の来日に際した OSGS・OSUS 生の同窓会への参加

3月3日に埼玉会館で開催された同窓会に参加し、フィンドレー大学学長の Katherine Rowe Fell氏やOSGSの過去の参加者の皆さま、さらに埼玉県庁職員の方々との交流をした。川村教授の「この繋がりを途切れさせない」という強い信念に感化され、今後も同様の国際的なイベントがあれば積極的に参加したいと考えた。

2. 深谷市への訪問インタビュー

OSGS 4期生の片桐さん、菅野さんとともに、深谷市の「深谷テラス」、「ヤサイな仲間たちファーム」、そして「ふかや花園プレミアム・アウトレット」を訪問した。前者2つの施設では職員の方に設立経緯を伺い、地元を盛り上げたいという深谷市の想いを直接感じることができた。「深谷市の自然や畑は残しつつより多くの人々が訪れるスポットをつくりたい」、「野菜を中心とした健康的な食生活の魅力を伝えたい」といった現地の方々の声を世界に届けるべく、現在はSNS投稿の準備を進めている。

3. オハイオ州の学生に向けた埼玉紹介プレゼンテーション

4月中旬に開催するフィンドレー大学の学生に向けた埼玉紹介のプレゼンテーションに向け、地元の散策や資料作成を行なっている。このプレゼンテーションでは、調べれば出てくる埼玉の魅力ではなく、県民だからこそ知っている隠れた魅力を発信する予定である。その中でも私は、地元戸田市の「こどもや親世代を大切にしまちづくり」や小中高校時代を埼玉県の公立学校で過ごした「学生目線での充実した教育制度」を紹介すべく、日々発表準備に勤しんでいる。

【前回の目標の振り返り及び今後の目標】

第一回の中間レポートに記載した「本プログラムの目的を常に意識し、より積極的な発言を心がける」という目標に関しては、大方達成することができたと感じる。以前よりも躊躇わずに発言や質問をするようになったことで、講義内容に対する理解が深まったり自信が持てるようになったりしたため、この姿勢を今後も続けていきたいと考える。

埼玉親善大使としての活動に関しては、「オーディエンスの印象に残る埼玉発表・成果発表会をする」という目標を掲げていた。未だに発表の場は経験していないため、引き続き同じ目標を掲げて活動に取り組みたいと考える。具体的には、成果発表会でもSNSを通した発信でも、「現地の人々や市民の声を直接届けるような紹介」を心がけていきたい。

